

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	穂坂自然公園管理事業	担当課	農林課
細分化した事業名			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	心地よい定住環境のあるまちづくり
	政策	快適に暮らすための生活環境の充実
	施策	公園整備の充実
関連する個別計画等		根拠条例等

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	穂坂自然公園（ふれあいセンター）及び自然観察園を管理し、豊かな自然を活かした都市と地域の交流を図るため。
事業の手段	平成 23、24、25 年度については、緊急雇用対策事業により峡北森林組合にイベントの企画、実施や施設や遊歩道等の管理などの運営を委託している。
事業の対象	穂坂自然公園（ふれあいセンター）及び穂坂自然観察園

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	23,133	10,571	10,782
財源内訳	国・県支出金	13,000	9,000	9,000
	その他(使用料・借入金ほか)	58	141	154
	一般財源	10,075	1,430	1,628
B	担当職員数(職員E) (人)	0.55	0.30	0.05
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	3,751	2,006	324
D	総事業費(A+C) (千円)	26,884	12,577	11,106
主な事業費用の説明		穂坂自然公園イベント開催業務委託費		

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 営業日数	(日)	215	312	311
	2 イベント実施回数	(回)	21	28	49
	3 市主催イベント回数	(回)	0	3	2
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明		1 休館日は毎週月曜日とし、8月については夏休みに合わせて無休で開園して多くの来園者を受け入れを図る。 2 営業日には毎日イベントを開催し、来園者がいつでも森林体験イベントに参加できるよう受け入れ態勢を整えている。 3 市主催事業など開催により、市民が自然とふれあう時間を提供するとともに、市民の健康増進及び憩いの場としての活用を図る。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			23年度	24年度	25年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	来園者数	(人)	5,480	5,503	5,938
	2	イベント参加者	(人)	2,034	422	1,131
	3	事故数	(件)	0	0	0
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	オープンして3年目であり、来園者数の減少が懸念されたが昨年度を上回る来園者であった。				
	2	309日イベントを開催したものの、実際に集客があったのは75日であった。自転車関連イベントや子ども向けイベントにより少ない集客日数でも昨年度より多くの集客があった。				
	3	遊歩道等自然観察園内の安全管理はされており、来園者の事故は無かった。 しかし、施設の景観維持はこちらからの指示がないと作業がなされないことが多かった。				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input checked="" type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画(今後の事業展開説明) 森林資源を活用した体験型イベントや自転車関連のイベントを実施し、利用者数を増やすとともに、こどもの遊び場の提供や市民の憩いの場、健康増進の場として活用を図っていく。また、一年を通じて園内散策が楽しめるよう、四季に咲く草花を植栽する。 今後も松くい等による倒木、付近でのクマの出没など危険因子の早期発見、注意喚起等を行う。また、遊歩道等自然観察園内を適切に管理し、より一層来園者の安全の確保も必要となる。 25年度2月の豪雪により、施設へ通じる幹線道路が使用できず、施設の長期閉鎖が行われる事態が発生した。道路に関しては施設の管理委託者だけでは対応できないため、密接に連携を取り速やかに対応する必要がある。 より多くの市民の方々に来園していただけるよう市HPの更新や小学生にパンフレット等の配布を検討し、更なる集客を図る。 H26年度から利用者数の少ない冬季期間(12月~3月)は施設を閉鎖し、コスト削減を図る。
過去の改善経過	公園及び観察園の業務委託による適切な管理と、各種イベントの実施により集客数の増を図ってきた。また、平成24年度からは、市主催イベントも開催することにより、市民の健康増進と、憩いの場の提供に努めてきた。
課長所見	豊かな自然と森林資源の大切さを学ぶ機会を提供することで、林業への理解と振興に繋がるものと考えている。また、多くの市民に活用していただくために施設のPRと各種イベントの見直しまたは充実を図る必要があると考える。